

# 天保山マーケットプレースに OPEN! 昭和40年前後の大阪の街並みが出現!!

## なにわ食横丁

七福神社・福猫神

知ってほしい。「なにわ食横丁」の歌が流れ太陽の塔が輝いた頃、日本中の注目が大阪に集まった。懐かしさあ...。そんな昭和40年代のどこかで見た大阪の下町に、関西食文化を代表する老舗・元祖・名店が19店も集結した「なにわ食横丁」がオープン。これが大変な出来事だ。いづいねん。一度は食べてみたい。本物の味。「こゝに来れば、一堂に食すことができるんや!! 味だけやないでえ、遊び心も、ま〜きょうさんある。電柱や看板、張り紙に、た〜やひらめ、はまち、あじなんかの魚の名前が隠されてたり、意外な「なにわ食横丁」が待たれてる。これがまたおもろいんや。七福の「利益」が得られるという縁結びの「七福塚巡り」。木札に書かれた問いに答えていかはると、「利益のある場所がわかるでえ」。カップルはんに、はうてつけやろ、ほかに、不動産屋はん、床屋はん、たばこ屋はんも営業中。集会所や郵便局をのぞいてもええんや。さあ、行くでえ!! 一歩、二歩、三歩、もう、あなさん、この横丁の住人や。とこゝを食い倒れて、遊んでいかなはれ!!



横丁の奥にそびえる鳥居。ここを進むとご利益ある七福神社にたどりつく。



カップルに是非試して欲しいイベント。二人で手をつないで「好きやねん」と祈願すれば、今後の将来がわかるかも。



街を探索して、遊び心一杯の看板、張り紙に出会う。各店舗すべて海や魚にちなんだデザイン。

### 大阪一口餃子の店 餃々

パリッと一口で食べれる極薄皮のチャオチャオ餃子(8個280円)。国産豚肉と産直減農薬野菜、油はヘルシーな落花生油、両脇が開いているから、余分な油が除かれ、うま味が閉じ込められる。だから、おいしい。



### たこ焼きの元祖 会津屋

昭和8年創業の元祖たこ焼き(12個400円)の店。だしの利いた生地とタコのみで仕上げ、ソースはつけない。こんがり焼きたてで、口の中にアツアツでハフハフしたらトロロリの味が広がる。



### 京アイス 新八茶屋

京都・嵐山から初支店の元祖抹茶ソフトクリーム(270円)の店。無香料、無着色の天然素材のみで創るアイス(シングル300円、ダブル350円)は絶品。鯉鮎トウフのアイスはしょうゆをかけて食べてみて! 新しい発見!



### お好み焼きの老舗行列店 ゆかり

昭和25年創業のお好み焼きの老舗店。独自のな具を入れて焼く、ゆかり焼き(1500円)や有頭エビが乗るド迫力、直径30cmを超える大阪城(3900円)他メニュー多数あり。



### オムライスの元祖 北極星

洋食の定番・オムライスは大阪「北極星」で生まれた。人気はチキンオムライス(650円)、セットはプラス350円で小エビのフライと味噌汁がつく。



### いか焼きの元祖 桃谷いかやき屋

青森・八戸の剣先イカと手打ちの生地をまぜて、焼き上げオリジナルソースをかけた大阪名物。もちもちした食感が楽しめるし、待っている間お兄さんの絶妙なトークでなごむ。(1枚200円)



### ★テーマストーリー 元べっさん 伝説

昔々、貧しかったこの村に、1匹の子猫が捨てられていた。心優しい村の人たちは、自分たちの食べ物を子猫に分け与えて助けた。お陰で子猫はすくすく育ち、いつしか村人への恩返しを誓った。100日目の満月の夜、子猫は荒れ狂う海に向かって「好きやねん!」と叫んだ。すると海の中から一匹の子餃が現れ、子猫は小餃にまたがり海の中へと消えて行った。翌朝、カモメの大群が飛来するや、海は朱色に輝き、魚で満ち溢れ、それから村は、美味なる食材に誘われ多くの料理人が集まり、技を競い合うようになった。この子猫と小餃こそ、海運と商売繁盛の神様「元べっさん」の化身「食いしんぼえびす」であった。



「食いしんぼえびす」の足の裏をなでると、幸せが来ると言い伝えられている。ここに来たら、触って福をもらおう。



食いしんぼ派出所

食いしんぼえびす像

なにわ駅

くいしんぼ広場

食いしんぼ横丁入口

### 七福塚巡り

食いしんぼ派出所内は塩昆布小倉屋。そしてここは、「七福塚巡り」の出発所。街に隠された木札を探し、その問いに答えよう。



### アクセス

大阪市港区海岸通 1-1-10  
天保山マーケットプレース 2F  
TEL 06-6576-5501(代)  
営業時間: 10:00 - 20:00  
(季節により変動する場合がございます)  
不定休(海遊館に準ずる)  
地下鉄中央線 出口から北へ、徒歩5分。  
<http://www.kaiyukan.com/>

